

第4章 地域別方針

4-1 地域別方針とは

前章では市全体で取り組む内容を示しましたが、地域の実情に応じた具体的なみどりの施策を推進するには、地域ごとの方針を示すことが必要となります。

そのため、地域別方針では、地域特性に応じたみどりづくりを進めていく上で、地域の現況や特性、市民アンケート調査結果を踏まえ、地域の課題などを明らかにしながら方針を示します。

なお、本計画では、都市計画マスタープランとの整合を保つため、小学校区を基本単位とした4地域に区分し、地域別の施策について示します。



図 4-1 地域区分図

地域区分	構成する小学校区域
①小松島・南小松島・北小松島・千代地域	小松島小、南小松島小、北小松島小、千代小
②児安・芝田地域	児安小、芝田小
③坂野・和田島・新開地域	坂野小、和田島小、新開小
④立江・櫛淵地域	立江小、櫛淵小

4-2 地域別のみどりづくり

■ ① 小松島・南小松島・北小松島・千代地域

(1) 地域の概況等

地域の概況	<ul style="list-style-type: none"> ●地形は大部分が平地であり、北部に日峰山、東部に海岸部を有しています。 ●本地域の大部分が市街化区域に指定されています。 ●市役所などの公共施設、県立高等学校などの教育施設、徳島赤十字病院などの医療施設が立地し、利便性の高い中心市街地を形成しています。
人口	21,231人（H25都市計画基礎調査より）
公園	都市公園 : 1か所（日峯大神子広域公園） その他の公園 : 2か所（小松島ステーションパーク、しおかぜ公園） 児童公園 : 11か所
緑地	遊歩道 : 1か所 緑被面積（緑被率） : 320ha（40%）
公共施設 緑地等 一人当たり 面積	都市公園一人当たりの面積 : 3.4（㎡/人） 公共施設緑地等一人当たりの面積 : 5.7（㎡/人）

(2) 地域の現況と課題

- ▶地域の沿岸部は津波被害が想定されており、既存公園が持つ防災機能の強化が課題となっています。
- ▶市民アンケートより、公園に期待する機能では「防災機能」のほか、「安らぎ」や「子どもの遊び場」も求められています。
- ▶日峯大神子広域公園や小松島ステーションパーク、しおかぜ公園、遊歩道など市を代表する公園が多く配置されており、公園・緑地等を毎日利用する人が最も多い地域であり、散歩やジョギングとしての利用が多くなっています。



小松島ステーションパーク



遊歩道

- ▶小松島市総合グラウンドは開設してから60年以上が経過しています。また、長期未整備の都市計画公園があります。



小松島市総合グラウンド（野球場）

- ▶大部分が市街化区域に指定され、本市の中心市街地がある一方で、みどりが少ないと感じる人が多く、緑地面積は少ない地域となっています。
- ▶地域に点在する名水箇所や河川・水路をどのように守るかが課題となっています。



のぞみの泉（JR南小松島駅横）



三条橋から（小松島町）

- ▶日峰山や横須・金磯海岸は風致地区に指定されており、近傍地区の状況を勘察した区域の見直しの検討とともに、保全を図る必要があります。



日峰山（中田町）

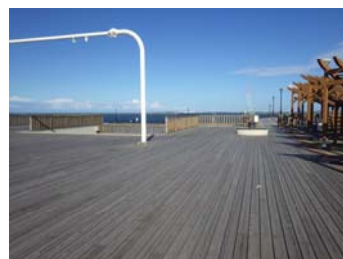


横須・金磯海岸

- ▶小松島ステーションパークやしおかぜ公園といった本地域を代表する公園の適切な維持管理を図っていく必要があります。



しおかぜ公園



みなとオアシス

(3) 地域の方針及び施策

< 地域の方針 >

- ✓市の中心市街地を抱え、多くの方が居住する地域であり、防災上重要なオープンスペースの確保と公共施設等の緑化を推進します。
- ✓日峯大神子広域公園周辺や金磯周辺の山林、海岸線による良好な景観の保全を図ります。

①安全な未来を守る みどりづくり

- 市の中心市街地があり、市街地や市街地周辺に残る農地等は防災上も重要なオープンスペースであることから、保全策について検討します。
- 小松島市総合グラウンドを含む日峯大神子広域公園（脇谷地区）については、地域防災計画に位置づけられる防災拠点施設として、防災機能の向上を図ります。

②健やかな暮らしを創る みどりづくり

- 日峯大神子広域公園（脇谷地区）は、機能や質を向上するため、再整備を図ります。
- 長期末整備の都市計画公園は、計画時点からの社会情勢の変化などを踏まえた上で、見直しを含めて検討します。
- 公園・緑地等の新設や整備を図る際には、バリアフリー・ユニバーサルデザインを活用し、健康増進や自然環境教育、レクリエーションの場となる整備を検討します。
- 公共施設では、緑地の確保・緑化の推進により、緑化率の向上に取り組みます。
- 公園等に求められている機能について、周辺環境を考慮しながら、整備を検討します。
- 個人宅地を含む民有地は、地域住民等の意向を考慮しながら、緑化の推進に努めます。

③豊かな資源を活かした みどりづくり

- 徳島小松島港では、しおかぜ公園周辺の港湾の都市的景観を保持し、水とみどり豊かな調和のとれた空間の保全に努めます。
- 市街地に点在する名水は、多くの方に親しまれる泉源として保全を図ります。
- 地域内を流れる神田瀬川や芝生川、田野川については、潤いと安らぎのある水辺空間と良好な河川景観として次世代に継承します。
- 日峯大神子広域公園周辺や金磯周辺の地域森林計画対象民有林、海岸線の松林は、市の歴史ある景観として保全するとともに、風致地区は社会情勢を勘案しながら、見直しを検討します。
- 金磯のアコウなど、天然記念物や巨樹等の保全と利活用を図ります。



●小松島市総合グラウンドを含む日峯大神子広域公園（脇谷地区）の防災機能強化
●機能や質を向上するための再整備

●徳島小松島港周辺における景観の維持と水とみどりの調和の取れた空間の保全

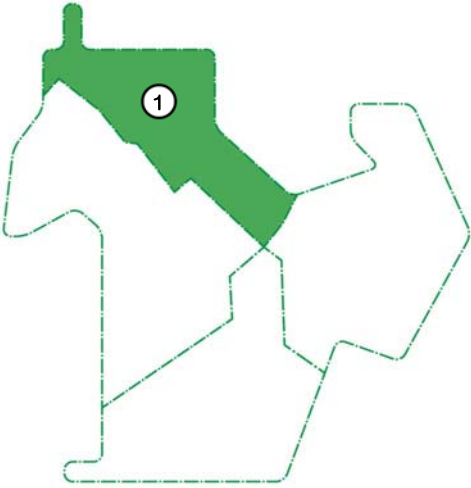
●市街地及び市街地周辺に残る農地の保全

●公共施設や民有地における緑地の確保・緑化の推進

●金磯周辺における松林、海岸線の保全と整備
●社会状況の変化等による風致地区の見直し検討
●金磯のアコウなど、天然記念物や巨樹等の保全と利活用

●バリアフリー・ユニバーサルデザインを活用した整備
●健康増進や自然環境教育、レクリエーションの場となる公園整備

●長期未整備である都市計画公園の見直しを含めた検討



凡例	
●	核となる都市公園
●	レクリエーション拠点
●	スポーツ・防災拠点
★	天然記念物・史跡等
○	歴史・風致ゾーン
○	保全ゾーン（優良農地・自然林）
○	緑化推進ゾーン
○	防災レクリエーション施設または公園・緑地等の整備検討地域
↔	みどりの河川軸
↔	みどりの海岸軸
—	義経ドリームロード
—	みどりのネットワーク
■	市街地
■	農地
■	山林

■ ② 児安・芝田地域

(1) 地域の概況等

地域の概況	<ul style="list-style-type: none"> ●地形は中央部から北部は平地、南西部は丘陵地となっています。 ●全域が市街化調整区域に指定され、農地や山林等の占める面積が大きくなっています。 ●四国八十八箇所霊場十八番札所恩山寺には県指定天然記念物である「ピランジュ」が生息するなど豊かな自然環境があり、裏山一帯は自然公園となっています。
人口	5,573人（H25都市計画基礎調査より）
公園緑地	都市公園 : 0か所 その他の公園 : 1か所（水辺とふれあえる川原の休憩広場） 児童公園 : 7か所 緑被面積（緑被率） : 1,141ha（83%）
公共施設緑地等一人当たり面積	公共施設緑地等一人当たりの面積 : 1.3（㎡/人）

(2) 地域の現況と課題

- ▶都市公園は地域内に所在しないものの、隣接する小松島・南小松島・北小松島・千代地域のステーションパークやしおかぜ公園を利用する人が多く、散歩やジョギングとしての利用が多くなっています。
- ▶主に農地と山林が占め、平地には一定のまとまりのある集落地がある地域で、全域が市街化調整区域であり、緑地面積は4地域の中でも立江・櫛淵地域と並び最も多くなっています。
- ▶中央部から北部にかけての農地や南西部の丘陵地は、農用地域や地域森林計画対象民有林、風致地区に指定されており、近傍地区の状況を勘案した見直しの検討とともに、保全を図る必要があります。



田園風景

▶四国八十八箇所霊場の恩山寺や義経ドリームロードなど、郷土を代表する景観があり、これらを保全・利活用し、次世代へ継承することが重要となっています。



恩山寺



旗山

(3) 地域の方針及び施策

<地域の方針>

- ✓ 中心市街地に隣接する地域であり、広大な農地と豊かな山林を有する地区であることから、防災上重要なオープンスペースの確保と恩山寺自然公園周辺の豊かな山林の保全を図ります。

①安全な未来を守るみどりづくり

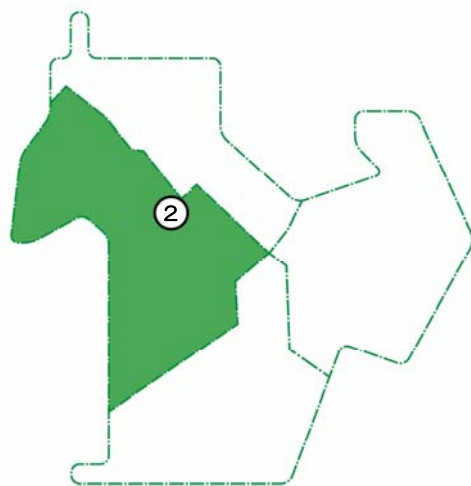
- 平野部は主に市街地周辺に広がる農地であり、防災上も重要なオープンスペースであることから、農地の保全に努めます。
- 土砂災害等の防止や減災のため、南西部の山林の保全を図ります。
- 北西部の公園空白地域には、防災機能に配慮した新たな公園・緑地等の整備を検討します。

②健やかな暮らしを創るみどりづくり

- 公園・緑地等の新設や整備を図る際には、バリアフリー・ユニバーサルデザインを活用し、健康増進や自然環境教育、レクリエーションの場となる整備を検討します。
- 公園等に求められている機能について、周辺環境等を考慮しながら、整備を検討します。

③豊かな資源を活かしたみどりづくり

- 中部から南部に広がる地域森林計画対象民有林の保全を図り、農地や集落地と近接する里山については、地域の方々と協力して適正な維持管理に努めます。
- 東部に広がるまとまりのある優良農地や北部に広がる農地については、市街地を取り囲む優れた田園風景として保全を図ります。
- 地域内を流れる勝浦川、神田瀬川、芝生川、田野川については、潤いと安らぎのある水辺と良好な河川景観として次世代に継承します。
- 恩山寺自然公園や周辺の旗山恩山寺風致地区は、優れた自然環境を持つみどりとして、また恩山寺についても歴史的景観を形成する貴重な資源として、関係機関と連携し保全を図るとともに、風致地区は社会情勢を勘案しながら、見直しを検討します。
- 恩山寺のピランジュや義経ドリームロードの史跡など、天然記念物や巨樹等の保全と利活用を図ります。



凡 例	
●	核となる都市公園
●	レクリエーション拠点
●	スポーツ・防災拠点
★	天然記念物・史跡等
○	歴史・風致ゾーン
○	保全ゾーン（優良農地・自然林）
○	緑化推進ゾーン
○	防災レクリエーション施設または公園・緑地等の整備検討地域
⇄	みどりの河川軸
⇄	みどりの海岸軸
⇄	義経ドリームロード
⇄	みどりのネットワーク
■	市街地
■	農地
■	山林

■ ③ 坂野・和田島・新開地域

(1) 地域の概況等

地域の概況	<ul style="list-style-type: none"> ●地形は、市街化区域から市街化調整区域まで概ね平坦地となっています。 ●北西部では工業地帯を中心とした市街化区域となっており、東部から南部にわたって市街化調整区域となっています。
人口	10,807人（H25都市計画基礎調査より）
公園緑地	都市公園 : 0か所 その他の公園 : 1か所（JAあいさい緑地） 児童公園 : 22か所 緑被面積（緑被率） : 720ha（59%）
公共施設緑地等一人当たり面積	公共施設緑地等一人当たりの面積 : 7.3（㎡/人）

(2) 地域の現況と課題

▶公園に期待する機能では、防災機能が高くなっています。地形は概ね平坦地となっていることから、津波等から避難する高台などが求められており、小松島ニュータウンに津波避難場所となる小松島ニュータウン地区津波避難施設が建設されました。



小松島ニュータウン地区津波避難施設

▶拠点となる公園・緑地等はJAあいさい広場となっています。児童公園は22か所と他地域と比べ最も多くなっていますが、小松島ニュータウンに集中しています。



JAあいさい緑地（多目的広場）



JAあいさい緑地（親水広場）

- ▶公園・緑地等を利用しない割合が他の地域と比べ高くなっています。市民アンケート結果でも「管理状況が不十分」との回答が最も多く、既存の公園・緑地等において適切な管理を推進することが求められています。
- ▶緑被率は約6割を占めているものの、その大半は農地によるみどりとなっており、東部から南部に広がる農地は、農用地区域の指定により保全されています。これらを引き続き保全していく必要があります。
- ▶北西部の港湾部は工場などの工業地帯で、工場緑地が主なみどりとなっています。都市的景観を持っており、みどりの更なる確保やみどりによる景観の向上が課題となっています。

(3) 地域の方針及び施策

< 地域の方針 >

- ✓ 工場敷地や住宅地などの民有地緑化を推進することにより多様なみどりを確保します。
また、既存公園のリニューアルや適正管理を図ることにより、公園・緑地等の利用を促進します。
- ✓ 津波避難等の観点から新たな防災施設等の整備を検討します。

①安全な未来を守るみどりづくり

- 市街化調整区域は主に市街地周辺に広がる農地であり、防災上も重要なオープンスペースであることから、農地の保全策について検討します。
- 北東部の太田川付近には、防災機能に配慮した公園の整備を進めます。また、防災機能に配慮した新たな公園・緑地等の整備を検討します。
- 広域避難場所に指定されている JA あいさい緑地について、防災機能の向上を図ります。

②健やかな暮らしを創るみどりづくり

- JA あいさい緑地（多目的広場「あいさいスタジアム」や野球場「あいさい球場」）はスポーツや「ひと」の交流拠点であり、周辺環境との調和を図り、適切に維持管理をします。
- 公園・緑地等の新設や整備を図る際には、バリアフリー・ユニバーサルデザインを活用し、健康増進や自然環境教育、レクリエーションの場となる整備を検討します。
- 公園等に求められている機能について、周辺環境等を考慮しながら、整備を検討します。
- 関連法令や各種制度の活用により、個人宅地や工場等の民有地の緑化推進を図ります。

③豊かな資源を活かしたみどりづくり

- 東部から南部に広がる農地については、優れた田園風景として保全を図ります。
- 地域内を流れる太田川については、潤いと安らぎのある水辺空間と良好な河川景観を継承するため保全を図ります。
- 徳島小松島港赤石地区は、四国東部の海運物流・観光拠点となっています。産業振興を推進しながら、水とみどり豊かな調和ある空間づくりに努めます。
- 坂野八幡神社の社叢など、天然記念物や巨樹等の保全と利活用を図ります。

●農業体験やイベントを通じた、
みどりとふれあう機会の創出

●バリアフリー・ユニバーサルデザインを活用
した整備
●健康増進や自然環境教育、レクリエーションの
場となる公園整備

●潤いと安らぎのある水辺空間と
良好な河川景観を継承するため
保全

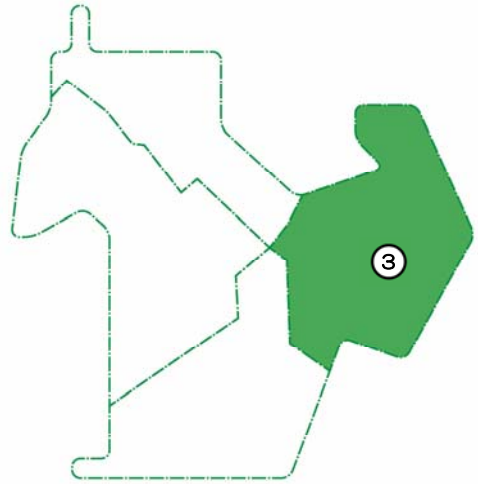
●スポーツや「ひと」の
交流拠点としての適
切な維持管理



●市街地周辺に広がる
農地の保全

●工場等における民有
地の緑化推進

●坂野八幡神社の社叢*など
天然記念物や巨樹等の保全と利活用



凡 例	
●	核となる都市公園
●	レクリエーション拠点
●	スポーツ・防災拠点
★	天然記念物・史跡等
○	歴史・風致ゾーン
○	保全ゾーン (優良農地・自然林)
○	緑化推進ゾーン
○	防災レクリエーション施設または公園・緑地等の整備検討地域
↔	みどりの河川軸
↔	みどりの海岸軸
—	義経ドリームロード
—	みどりのネットワーク
■	市街地
■	農地
■	山林

■ ④ 立江・櫛淵地域

(1) 地域の概況等

地域の概況	<ul style="list-style-type: none"> ●地形は、中央部から北東部にかけて平地となっており、北西部から南部にかけては丘陵地となっています。 ●全域が市街化調整区域に指定されており、農地や山林の占める面積が大きくなっています。 ●中心を立江川が貫いており、ふるさとの川整備事業※により周辺環境との調和が保たれた良好な水辺空間が形成されています。
人口	3,003人（H25都市計画基礎調査より）
公園緑地	都市公園 : 0か所 その他の公園 : 1か所（立江川親水公園） 児童公園 : 3か所 緑被面積（緑被率） : 950ha（83.8%）
公共施設緑地等一人当たり面積	公共施設緑地等一人当たりの面積 : 3.3（㎡/人）

(2) 地域の現況と課題

- ▶災害時に避難場所、復旧・復興活動の拠点となるような公園・緑地等が不足しています。
- ▶拠点となる公園・緑地等は立江川親水公園のみとなっています。また、児童公園も3か所と他地域と比べ少なくなっています。



立江川親水公園

- ▶市民アンケートでは、「公園が少ない」と答えた人が約40%と他の地域と比べて高くなっています。
- ▶主に農地と山林が占め、平地には一定のまとまりのある集落地がある地域で、全域が市街化調整区域に指定されていることなどから緑地面積は4地域の中でも児安・芝田地区と並び最も多い地域となっています。

- ▶南東部の農地や西部の山林は、農用区域や地域森林計画対象民有林の指定により保全されており、これらを引き続き保全していく必要があります。
- ▶四国八十八箇所霊場の一つである立江寺周辺の門前町※の郷土景観や、立江川と周囲に広がる田園と里山が一体となった地域景観と豊かな生態系の保全と文化の継承が求められます。



立江寺



里山（櫛淵近辺）

(3) 地域の方針及び施策

<地域の方針>

- ✓立江川及び周囲に広がる田園と里山が一体となった地域景観と豊かな自然環境が育んだ豊かな生態系を将来世代に継承していくため保全を図ります。

①安全な未来を守るみどりづくり

- 平野部は主に農地であり、防災上も貴重なオープンスペースであることから、農地の保全策について検討します。
- 土砂災害等の防止や減災のため、北西部の山林の保全を図ります。
- 中央部の公園空白地域には、防災機能に配慮した新たな公園・緑地等の整備を検討します。

②健やかな暮らしを創るみどりづくり

- 公園・緑地等の新設や整備を図る際には、バリアフリー・ユニバーサルデザインを活用し、健康増進や自然環境教育、レクリエーションの場となる整備を検討します。
- 公園等に求められている機能について、周辺環境等を考慮しながら、整備を検討します。

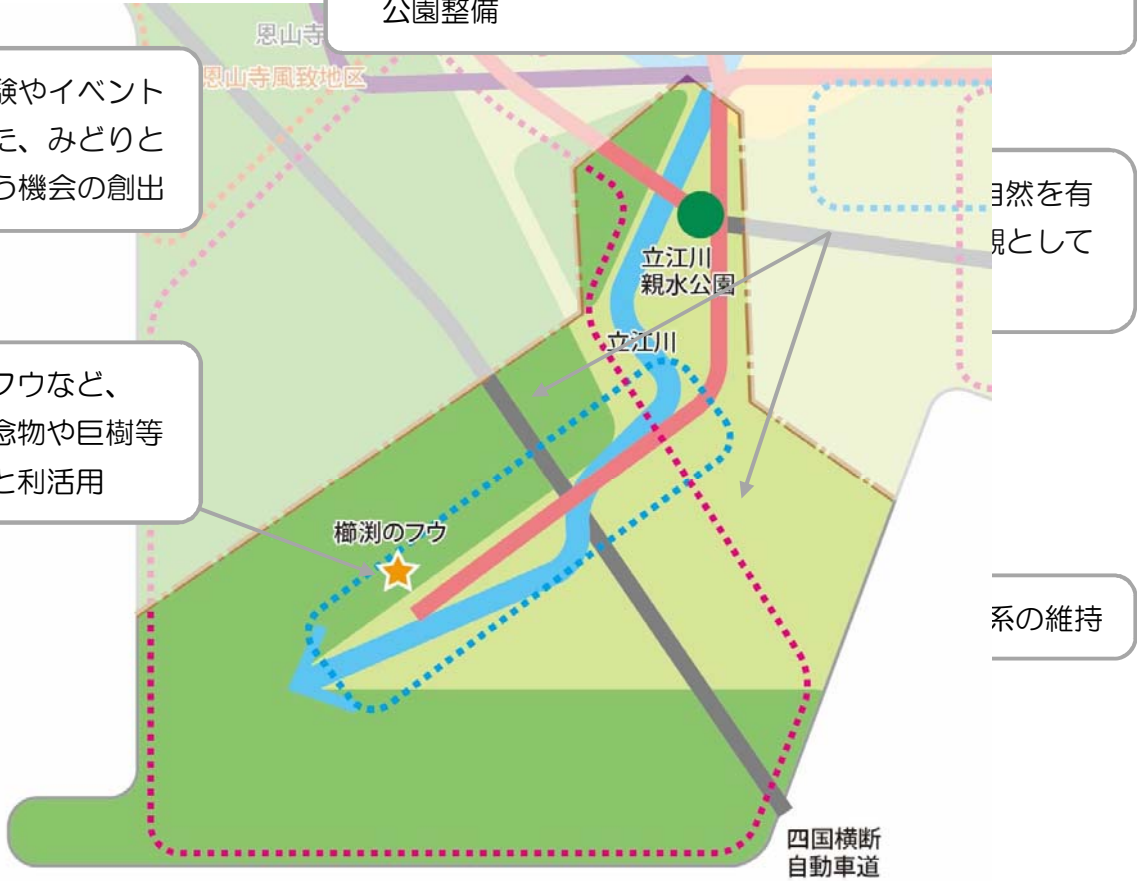
③豊かな資源を活かしたみどりづくり

- 立江川及び周囲に広がる農地、山林（里山）については、豊かな自然を有する景観として継承するため保全を図ります。
- 立江川及び周辺の山林（里山）については、豊かな生態系を維持します。
- 檜涿のフウなど、天然記念物や巨樹等の保全と利活用を図ります。

- バリアフリー・ユニバーサルデザインを活用した整備
- 健康増進や自然環境教育、レクリエーションの場となる公園整備

● 農業体験やイベントを通じた、みどりとふれあう機会の創出

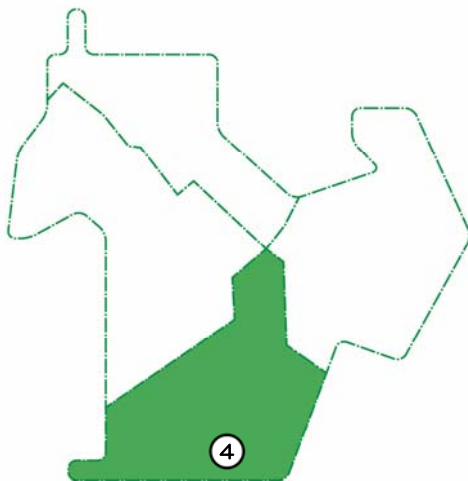
● 櫛漕のフウなど、天然記念物や巨樹等の保全と利活用



自然を有
見として

系の維持

● 農地の保全策について検討



凡例

- 核となる都市公園
- レクリエーション拠点
- スポーツ・防災拠点
- ★ 天然記念物・史跡等
- 歴史・風致ゾーン
- 保全ゾーン（優良農地・自然林）
- 緑化推進ゾーン
- 防災レクリエーション施設または公園・緑地等の整備検討地域
- ↔ みどりの河川軸
- ↔ みどりの海岸軸
- 義経ドリームロード
- みどりのネットワーク
- 市街地
- 農地
- 山林